

## ◆その他 学校関係者評価委員からのご意見

- ・自問清掃の取組では、個人での活動が重視されているようだが、最近の様々な問題の原因として「孤立」の増加が挙げられている。清掃の場でも、「どうすれば良くなるか話し合いながら」「声を掛け合いながら」という手法もあるのではないかと。  
→→→話し合いや協力については、授業や学校行事を通して、その大切さを学び体験させていく。
- ・一般的には、「教職員のポイントが高く、生徒保護者からのポイントが低い」となることが多いが、「生徒保護者のポイントが上がると、教職員のポイントが少し下がっている」となっているのは良い。教職員が、さらなる向上を目指して教育活動にあたっているのを見て取れる。特に「学校は楽しい」「授業は分かりやすい」「いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている」で生徒のポイントアップは良い傾向である。
- ・「いじめられたり～」で生徒のポイントが高いのが良い。ただし、マイナスの回答の生徒もわずかながらいるので、その生徒への支援も抜けることがないようお願いしたい。  
→→→マイナス回答の生徒については、主任会や学年会で共通理解をし、懇談などを行うなどの手立てを講じている。
- ・アンケート結果から、生徒が楽しく学校生活を送っている様子が見て取れる。一方、元保護者としては、子どもと保護者の意識のギャップも理解できる。